

オンライン診療で処方を受けるに当たって注意が必要なお薬一覧

初診からオンライン診療で処方を受ける場合には、初診から安全に処方してもらうことができない医薬品もあるため、患者さんが処方を希望したとしても、医師が処方すべきでないと判断することがあります。

例えば、以下のようなお薬は、処方すべきでないと判断される可能性のあるお薬ですので、必要な際には、かかりつけの医師等と十分にご相談ください。

また、以下のお薬以外にもオンライン診療で処方を受けるに当たって、注意を要するお薬があります。詳細はこちら→(日本医学会連合「オンライン診療の初診に関する提言」)



	医師がオンライン診療（初診）で処方すべきでないと判断し得るお薬
代謝	<ul style="list-style-type: none"> ・ 糖尿病治療薬 (注) (注) 例えば、糖尿病治療薬であるGLP-1受容体作動薬などを「医療ダイエット」、「メディカルダイエット」などと称して処方する例において、健康被害の報告がされています。 ・ 脂質異常症治療薬
精神	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向精神薬 (抗うつ薬、抗不安薬、睡眠導入剤(睡眠薬)など) ・ ADHD (注意欠陥多動性障害) 治療薬 など
炎症・免疫・アレルギー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副腎皮質ステロイド薬 ・ 抗アレルギー薬 (抗ヒスタミン薬など。薬局において販売されている抗アレルギー薬は可能とされています。) ・ 標準化スギ花粉エキス など
内分泌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全てのホルモン製剤 (低用量ピルなど)
ビタミン製剤、輸液・栄養製剤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栄養製剤 など
循環器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利尿剤 など
呼吸器	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻薬系の鎮咳薬 など
神経	<ul style="list-style-type: none"> ・ 麻薬類 など
耳鼻咽喉	<ul style="list-style-type: none"> ・ 副腎皮質ステロイド (点鼻) など
皮膚	<ul style="list-style-type: none"> ・ ステロイド外用薬 (効果の強さがvery strong (とても強い) 以上のもの) など



オンライン診療は、その特徴や注意点を理解した上で、オンライン診療の実施について医師と合意できた場合に利用することが可能です。ご利用を検討の際は、かかりつけの医師にご相談ください。